

守る会岡山 54号
2024. 2. 1 発行



森永ひ素ミルク中毒の被害者を

守る会岡山

岡山県本部事務局

〒700-0984 岡山市北区桑田町18-28

明治安田生命岡山桑田町ビル4階

086-232-3855



新年あけましておめでとうございます。

みんなが健やかな年になりますように！



協会発表の構想（案）に対するご意見について

岡山県本部 森脇 良明

皆さんあけましておめでとうございます。朝晩きびしい寒さが続きますが、皆さんには元気にお過ごしのことと存じます。

本年も守る会の活動にご理解いただき、ご意見・ご協力いただきますようよろしくお願い致します。

昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻に加え、イスラエルとパレスチナ自治区・イスラム組織ハマスの紛争と火種が増し、インフラが破壊され一般市民や子供たちの限界を超えた困窮の状況がニュースで流されるそんな印象の年でした。

そして平和な日本でも新年早々能登半島で大地震と余震により、200名を超える死者が出る大災害が発生しました。被災者の皆さんが少しでも早く平穏な暮らしができる事を祈念します。

さてこの度は、ひかり協会から発表された「終生構想（案）」についてお知らせします。

終生構想（案）に対する意見は、交流会や書面で皆さんからたくさんいただきました。

その内容について、岡山県本部で議論しました。その中でも障害を持つ被害者の皆さんから「最後の一人まで身近な相談所を岡山において欲しい」という内容の意見を多くいただきました。岡山県本部としては、細々とでも守る会を存続し続け、ひかり協会設立に貢献した岡山の親たちの「障害のある子どもたちを生涯ずっと救い守る」という想いを引き継ぎ、今回出された意見も親族から託された意見として受け止め、障害のある被害者が最後まで安心して生活できる環境を整えるために、

- ①相談所は障害のある被害者が亡くなるまで現地に残して欲しいと要望します。
- ②協会職員についても一人きりにならないよう職員採用、退職年齢の延長について要望します。障害のある被害者の訪問相談について、相談員で対応するという提案が出されています。この提案については、
- ③極力職員で対応して欲しいと考えますが、止むを得ず相談員で対応する場合でも通りいっぺんの対応ではなく、被害者の為に他に良い方法はないか？という創意工夫が発揮できる人材を起用して欲しいと要望します。
- ④被害者の高齢化に備えた医療費申請書の簡素化、そして親族が代わって申請する場合、親族からの問い合わせにも対応してもらえるよう要望します。
- ⑤決定した構想の見直しの時期を巡っては、第3次10ヵ年計画終了後の適切な時期ではなく明確な時期を設定すること。また不測の事態に備え、決まった事だからと締めないで柔軟な対応ができるような体制にしておくよう要望します。



高野山参拝の報告 岡山県本部

コロナが落ち着いてやっと高野山への参拝を実施することが出来ました。

10月29日(日)30日(月)の2日間でしたが、岡山からは遠いので移動中のバスの中でしっかり交流することが出来ました。久しぶりの高野山で過去帳を拝見したり、慈母観音像にお参りしたりといつも通りの行程を無事に終えて、皆さんお楽しみの温泉まで一直線。旅の疲れを癒し、美味しい食事を頂いてのんびりしたひと時を過ごすことが出来ました。

次回もみんなが元気に行動できるうちに行きたいと思っています。それまで健康に気を付けてお過ごしくださいね。



楽生関節クラブに参加して

備中支部 張谷 俊郎



12月24日(日)今年度2回目の「楽生～関節クラブ」を開催しました。今回の講師の先生は若く元気いっぱいの方で、次々とストレッチを教えてくださいますがついていくのが精いっぱい、改めて身体の衰えを感じました。先生曰く「痛いと思ったら無理はしないでください。でも日常的に続けることで少しずつ可動域が広がり、柔軟性も増してくるので是非続けてください。」との事でした。初参加の方も2名おられて「参加してよかった。」「来年も日程が決まったら是非参加したいので教えてください。」と言っていました。いつも参加して下さっている人も「久しぶりにストレッチをして、身体の硬さ、関節や肩の可動域の狭さを実感しました。腰痛予防の為に運動のおかげで少しスッキリしました。



すぐ忘れるので紙のレシピがあればもっと良かったと思いました。1年間の慰労も兼ねて会の後に食事会を企画して下さり、みんなで美味しく頂きました。楽しくて話し込んでいると閉店時間があつという間に来てしまいました。「また、来年泊まり込みでじっくり話したいね」と言い合って別れました。

久しぶりのそうじゃ吉備路ウォーキング大会

備前支部 深井 貞光



令和5年11月5日、4年ぶりに「そうじゃ吉備路ウォーキング大会」に参加しました。11月初めというのに気温が26度から28度という暑さの中、前回と同様に「史跡巡りコース12キロ」を中倉さん、平松さん、張谷さん、岡崎さんと歩きました。春木さん、真田さん達はショートカットしてゴール地点で待っていてくれました。途中、備中国分寺跡の発掘調査をしている所では説明を聞きました。みんなで雑談をしながら、休憩もしつつ歩いていると時間があっという間に過ぎていきました。12キロコースを約3時間(歩数も約2万歩前後)で歩く事が出来ました。造山古墳のある山の坂を登るときは4年前とは違い足腰にこたえました。しかしゴール地点まで来ると疲れも吹き飛びすがすがしい気持ちで完歩証を頂きました。その後、いつものようにお接待の豚汁をおいしく頂きました。

これからも健康に気を付け、足腰の体力を維持し年1回のウォーキング12キロコースを楽しみながら参加したいと思います。



大きく動いた令和5年

編集部 菅野 孝明



令和5年は被害者や守る会に大きな変化のあった年でした。

コロナが穏やかになり少しずつ元の生活を取り戻し始めた頃にビッグニュースが飛び込んできました。「森永ヒ素ミルク事件の未開封缶、第1号被害者カルテ公開！」岡山大学医学部に1970年頃に被害者家族より譲り受けた未開封缶が長年金庫に保管されていました。同大学研究員の木下医学資料室長補佐が「まだまだ苦しむ被害者は今も多く、終わった事件ではない」と当時の被害者のカルテと共に公開に踏み切りました。このニュースは多くの新聞社・テレビ局により報道され、これにより一般の人に「森永ヒ素ミルク事件」を改めて知ってもらう機会になりました。岡山の被害者の見学会の時にはKSB瀬戸内海放送の取材を受け後日、夕方のニュースの中で特集番組として放送され大反響でした。

未開封缶の公開は多くの被害者や医療・教育関係者・学生・一般の方や親子連れの方が見学に訪れ、未開封缶やカルテを見て改めて悲惨な事件を考えました。

守る会全国総会では全国の被害者にこのニュースを伝え、多くの被害者の方たちが見学に訪れています。

昨年9月には明治大学宇田研究室の先生と学生さんが見学に来られました。「公害被害と救済対策」について研究されている皆さんです。見学後に協会事務所にて学生さんからの多くの質問を被害者から答えさせて頂きました。当時の症状や親の気持ち、その後の闘いと世界でも類を見ない恒久救済を勝ち取り現在まで続けられている事などを岡山県本部の森脇・平松・菅野の3人で若い世代の人に考えてもらい将来に役立ててもらいたいとお話しました。

学生の皆さんは真剣に聞いておられました。この結果は後日論文にまとめて発表されるそうです。

現在「森永ヒ素ミルク事件」は食品公害事件と位置付けされています。食品公害事件はいつの時代にもどこにでも起こります。二度とこのような事件を起こさないように私たち被害者は警鐘を鳴らし続けたいと思います。皆さんのご協力をお願いいたします。

*YouTubeにてKSB瀬戸内海放送の特集ニュースはパソコン・スマートフォンで閲覧できます。

「森永ヒ素ミルク事件」で検索すると出てきます。ぜひご覧ください。

森永ヒ素ミルク中毒事件の歴史 その8

備中支部 平松 邦夫



今回は、1969年10月「丸山報告」のその後についてふれます。事件は終わっていないことを社会に強く印象づけた「丸山報告」は、各方面に強いインパクトを与えました。それを列記してみます。①守る会は、日本公衆衛生学会での丸山報告発表の前日(10/29)に緊急集会を持ち、後11月30日に第1回全国総会を岡山市で開催。会社との交渉は先のこととし、当面取り組むべきこととして組織整備と後遺症究明を決定。②医療関係者の自主的な活動として被害者検診、疫学調査の実施。③法律家、自治体労働者等による被害者支

援「対策会議」の結成。④「対策会議」の要請を受けて、大阪府、京都府他自治体の被害者調査実施。⑤日本公衆衛生学会、日本小児科学会等医学界が過去の被害者対応の誤りを認め謝罪。以上のような情勢の下で、マスコミの報道ともあいまって、森永ヒ素ミルク中毒事件の恒久的解決を望む世論が盛り上がっていくのです。しかし、その一方で会社は強い危機感を持ったのでしょうか丸山報告の直後に、「直ちに国に再度の調査と検討をお願い」しているのです。会社が取った国への働きかけは、その後、岡山を巻き込む「官製検診」につながっていきます。この続きは、次回でお知らせします。

2024年度守る会の活動予定 詳しくは 守る会岡山 (086-232-3855) までお問い合わせください。

自主的グループ活動 (ひかり協会の援助事業)

- 守る会の歴史学習会 偶数月開催予定 岡山国際交流センター (岡山市北区奉還町 2-2-1)
- 楽生～関節クラブ 年2回開催予定 倉敷健康福祉プラザ (倉敷市笹沖 180)
- なでしこ料理教室 偶数月開催予定 倉敷健康福祉プラザ (倉敷市笹沖 180)
- ウオーキング 春・秋を目安に年2回程度開催予定

岡山県本部活動 (支部集会を兼ねる)

- グランドゴルフ 毎月第4土曜日 10:00~12:00の予定 (変更有)

お花見・うどんツアー等々なんでも企画して交流しませんか?

いろいろやってみたいことを企画して提案してください。楽しい企画をお待ちしています。

***会費納入のお願い** 本人会員 3,000円+ (手数料55円)

ゆうちょ銀行からの自動引き落とし日 3月1日 (前日までに残高の確認をお願いします)

その他の納入方法は同封の別紙 (会費納入のお願い) をご確認ください。

令和5年の訃報 西山 英明 7月8日死去 櫻井 立恵 7月25日死去
(敬称略) 北川 まり子 12月24日死去 ご冥福をお祈りいたします。

「守る会岡山」ホームページ <http://www.mamorukaiokayama.sakura.ne.jp>